

Automation Anywhere ライセンス販売・オプションサービス利用規約

第1条 目的

Automation Anywhere ライセンス販売・オプションサービス利用規約（以下「本規約」といいます）は、ソフトバンク株式会社（以下「当社」といいます）が販売する Automation Anywhere ライセンスおよび当社が提供する習熟・活用のための付加サービス（以下、これらを総称して「本サービス」といいます）について、当社と当社所定の申込書式（文書または電磁的方法等を問いません）にて申込みをされる法人（以下「お客様」といいます）との間で、本サービスの利用に関する条件を定めるものです。申込前に確認、検討し、本規約に同意の上でお申し込み下さい。

第2条 サービスの内容

1. 当社が提供する本サービスの種類は次の通りであり、各個別サービス（以下「個別サービス」といいます）の詳細は、別紙 1 に定めるものとします。なお、ライセンスパックの詳細は、当社が別途提供する重要事項説明書に定めるものとします。

(1) ライセンスパック

- ① エントリーパック
- ② クラウドスターターパック
- ③ デジタルワークフォーススターターキット
- ④ エンタープライズパック
- ⑤ スタンダードパック
- ⑥ プレミアムパック
- ⑦ ベースプラットフォーム

(2) 追加ライセンス

- ① Control Room
- ② Bot Creator
- ③ Unattended Bot Runner
- ④ Attended Bot Runner
- ⑤ Contact Center Users
- ⑥ Business Users
- ⑦ Bot Runner Package
- ⑧ Co-Pilot Plus

(3) オプションライセンス

- ① High Availability
- ② Disaster Recovery
- ③ Co-Pilot/AARI(for Web)
- ④ Citizen Developer
- ⑤ CoE Manager

- ⑥ Document Automation
- ⑦ Automator AI for Cloud
- ⑧ Agentic Process Automation
- ⑨ Enterprise Platform Bundle

(4) オプションサービス

- ① 初期設定サービス
- ② 開発スキルトレーニング
- ③ 開発スキルトレーニング教室版
- ④ 開発支援サービス
- ⑤ プレミアムサポート
- ⑥ 業務選定支援サービス
- ⑦ 開発辞典
- ⑧ 開発演習

2. Automation Anywhere, Inc.（以下「AAI」といいます）が提供するサービス（以下「AAI 提供サービス」といいます）の条件は「クラウドオートメーション契約またはオンプレミスソフトウェアライセンス契約」、「Automation Anywhere Enterprise License Agreement」（以下、これらを総称して「ライセンス規約」といいます）に基づくものとし、お客様は Automation 360（旧称 A2019）以降のバージョンについては前者を、それ以前のバージョンについては後者を参照し、本サービスのお申込みにより本規約およびライセンス規約に同意したものとします。お客様は、本規約に定めるサービスの契約期間に限り、本サービスを利用することができます。なお、AAI 提供サービスとは、前項（１）ライセンスパック、（２）追加ライセンス、（３）オプションライセンスのことをいいます。

第3条 申込条件

追加ライセンスのうち Bot Creator、Unattended Bot Runner、Attended Bot Runner、Contact Center Users、Business Users、Bot Runner Package、Co-Pilot Plus およびオプションライセンスについてはライセンスパックを当社から購入したお客様に限り、ご契約頂けるサービスです。

第4条 契約の成立

お客様は、当社が定める規約、約款の内容に同意の上、当社所定の申込書式（文書または電磁的方法等を問いません）にて申し込みを行うものとし、当社がこれを承諾したときに成立するものとします（以下、これらを総称して「本契約」といいます）。なお、ライセンスパック、追加ライセンス、オプションライセンス、開発スキルトレーニング教室版、プレミアムサポート、開発辞典、開発演習については納品書または代用の通知に記載の日付をもって、初期設定サービス、開発スキルトレーニング、開発支援サービス、業務選定支援サービスについては日程確定の通知をしたときをもってそれぞれ契約成立とします。

第5条 契約期間等

1. 個別サービスの契約期間およびお支払いの単位は下記の通りです。

サービス 種別	個別サービス名	契約期間	支払 単位
ライセンス パック	エントリーパック	契約成立日から1年間。更新後も同じ	一括
	クラウドスターターパック		
	デジタルワークフォーススター ターキット		
	エンタープライズパック		
	スタンダードパック		
	プレミアムパック		
	ベースプラットフォーム		
追加 ライセンス	Control Room	追加先となるライセンスパックの契約期間に準じる	
	Bot Creator		
	Unattended Bot Runner		
	Attended Bot Runner		
	Contact Center Users		
	Business Users		
	Bot Runner Package		
	Co-Pilot Plus		
オプション ライセンス	High Availability		
	Disaster Recovery		
	Co-Pilot/ AARI(for Web)		
	Citizen Developer		
	CoE Manager		
	Document Automation		
	Automator AI for Cloud		
	Agentic Process Automation		
	Enterprise Platform Bundle		
	オプション サービス	初期設定サービス	—
開発スキルトレーニング		—	
開発スキルトレーニング 教室版		—	

	開発支援サービス	当社の稼働時間累積が当社とお客様で定めた稼働時間上限に達するまで	
	プレミアムサポート	定額制 1 ヶ月コース * 契約成立日の属する月を 1 ヶ月目として 2 ヶ月目の末日まで	
		定額制 6 ヶ月コース * 契約成立日の属する月を 1 ヶ月目として 7 ヶ月目の末日まで	
		定額制 12 ヶ月コース * 契約成立日の属する月を 1 ヶ月目として 13 ヶ月目の末日まで	
	業務選定支援サービス	—	
	開発辞典	1 ヶ月コース 契約初月に限り、契約成立日の属する月を 1 ヶ月目として、2 ヶ月目の末日まで。更新後 1 ヶ月間。	月額
		12 ヶ月コース 契約初年度に限り、契約成立日の属する月を 1 ヶ月目として、13 ヶ月目の末日まで。更新後 12 ヶ月間。	一括
	開発演習	契約成立日から 60 日間。契約更新なし。	一括

* 各コースのご利用回数（セッション数）について、1 ヶ月コースは最大 10 回、6 ヶ月コースは最大 60 回を上限とします。12 ヶ月コースには上限はありません。

- オプションサービスのうち、プレミアムサポートはコースの契約期間終了日到来、またはご利用回数の上限到達のいずれかの時点で提供終了となります。
- 当社の認める販売会社（以下「販売会社」といいます）より購入された場合は、第 1 項の定めに関わらず販売会社が支払単位を決定、通知します。
- オプションサービスのうち、開発辞典は 1 ヶ月コース、12 ヶ月コースともに契約初月を除き、契約満了日の属する月の 15 日までにお客様から解約申込書のご提出がないときは、前契約と同一条件にて契約期間を継続し、以降も同様とします。

第6条 契約の終了及び更新

ライセンスパックおよび追加ライセンス、オプションライセンスについて、お客様が契約満了時点での契約終了を希望される場合、お客様自らが契約満了日の 60 日前までに、当社が指定する方法で契約終了の申し入れを行うものとし、その上で、契約満了日の 45 日までに、当社指定の解約申込書をご提出ください。ただし、開発辞典の場合は、契約満了日の当月 15 日までに当社指定の解約申込書のご提出のみで足りるものとします。当該解約申込書のご提出がない場合、当該契約は第 5 条第 1 項に記載の契約期間自動更新されるものとします。

第7条 料金・諸費用

- 個別サービスの利用料金（以下「利用料金」といいます）は、内容・時間・参加人数等に応じて当社が定める料金体系により決定の上、お客様の申し込み前に通知します。

2. 前項と併せ、本サービス提供に伴い発生する諸費用（交通費・宿泊費・会場費用・使用機材の輸送費等の実費。以下「諸費用」といいます）については、お客様の負担となります。ただし、当社お客様協議の上、別段の定めをした場合は、この限りではありません。
3. 当社が個別サービスの全部または一部について当社が指定する方法・内容で利用実績等の報告を求める場合は、お客様はこれを行うものとします。
4. 販売会社より購入された場合は、前各項の定めに関わらず、販売会社が決定、通知します。

第8条 料金の支払

1. お客様は請求書に記載されている金額を一括で支払うものとします。なお、オプションサービスのうち、初期設定サービス、開発スキルトレーニング、開発スキルトレーニング教室版、開発支援サービス、業務選定支援サービスについては、当社は、検収完了後 1 週間から 1 ヶ月間程度で請求書を発行します。
2. 利用料金が第 5 条にて月額と定められている場合、当社は、暦月末日経過後、請求書を発行します。なお、使用日数が 1 ヶ月未満の場合は請求書の発行は行わないものとします（ただし、開発辞典（1 ヶ月コース）を 1 ヶ月未満で解約した場合は除きます）。
3. お客様は、前項その他当社発行の請求書記載の料金額を、請求書記載の支払期限までに、当社指定の方法で支払うものとします。
4. 当社は、いかなる場合もお支払い済みの利用料金を返金致しません。また、中途解約された場合であっても、日割計算は行いません。
5. 利用料金その他の計算において、その計算結果に 1 円未満の端数が生じた場合は、その端数を切り捨てます。
6. 利用料金および諸費用の支払いに関わる手数料（第 4 項の定めに関わらず万一当社からお客様に対してこれらを返金する場合を含みます）は、すべてお客様の負担となります。ただし、当社の責めに帰すべき事由のある場合は、この限りではありません。
7. 前各項について、当社が指定する期日までに支払いがない場合は、当社はサービスの停止等、必要な措置を講じます。
8. 販売会社より購入された場合は、前各項の定めに関わらず、販売会社が決定、通知します。

第9条 オプションサービスの検収条件

1. オプションサービスのうち初期設定サービス、開発スキルトレーニング、開発支援サービス、業務選定支援サービスについては、お客様は実施日から 2 週間以内に、本サービスの検収が完了した証跡として、検収書類を提出するものとします。検収完了の旨をメール等にて当社へ返信することで代用することも可能とします。なお、2 週間以内に、お客様から本サービスの実施内容の不備に関する申告がない場合、お客様の検収が完了したものとします。
2. オプションサービスのうち開発スキルトレーニング教室版については、実施最終日に提供された検収書類または代用となる書類やアンケートを、お客様に提出頂くことにより検収を行うものとします。なお、その際にお客様から本サービスの実施内容の不備に関する申告がない場合、お客様の検収が完了した

ものとします。

第10条 お客様都合によるオプションサービスの日程変更・キャンセル

1. ライセンスパックおよび追加ライセンス、オプションライセンスについては申込書提出以降のキャンセルはいかなる理由においても一切不可とします。
2. 初期設定サービス、開発スキルトレーニング、開発支援サービス、業務選定支援サービスについては以下の通りとします。
 - (1) お客様の都合の日程変更または本サービスのキャンセルの申し入れにより、本契約を当社が契約承諾後に解約する場合、当社はお客様より以下のキャンセル料を頂きます。
 - ① 実施予定日の 6 営業日前まで…なし
 - ② 実施予定日の 5～2 営業日前まで…利用料金の 50%
 - ③ 実施予定日の前日・当日…利用料金の 100%
 - (2) 前号の定めに関わらず、お客様が実施日確定後かつ実施日の 7 営業日前までに当社に対して実施日の変更を申し出た場合、当社は別に定めのない限り日程変更を 1 回のみ認めるものとします。
 - (3) 営業担当者・講師またはエンジニアの出張を伴う解約、日程変更に関しては、第 1 号のキャンセル料に加え、交通費、宿泊費、会場等キャンセル料（手数料を含む）、制作済み教材費等の本サービス準備費、見積書に記載された企画準備費、利用機材の配送料、その他発生するすべての実費相当額を頂きます。
3. 開発スキルトレーニング教室版については、以下の通りとします。
 - (1) お客様の都合の日程変更または本サービスのキャンセルの申し入れにより、本契約を当社が契約承諾後に解約する場合、当社はお客様より以下のキャンセル料を頂きます。
 - ① 実施予定日の 8 暦日前まで…なし
 - ② 実施予定日の 7 暦日前～受験当日まで…利用料金の 100%
 - (2) レンタル PC 送付後の解約、日程変更に関しては、前号のキャンセル料に加え PC 送料を申し受けます。
4. プレミアムサポートについては、以下の通りとします。
 - (1) 解約はいかなる理由においても一切不可とし、利用料金の返金等は行わないものとします。
 - (2) セッションのキャンセルは、セッション実施予定日の前営業日 17 時までに当社が別途定める手続きに従い当社に事前に申し出た場合に限り利用可能回数の消費対象外とし、同 17 時を過ぎた場合は予約が成立したものとし、いかなる理由においても利用可能回数の消費対象とします。
5. 販売会社より購入された場合は、前各項の定めに関わらず、販売会社が決定、通知します。

第11条 提供開始日

1. ライセンスパック、追加ライセンス、オプションライセンスの提供開始日は、当社が申込書（文書または電磁的方法等を問いません）を受領した日から、7 営業日以降先の日付で、当社が設定できるも

のとします。

2. 当社は、お客様にライセンス提供開始通知の記載された納品書または代用の通知を、提供開始日当日までにお客様指定のメールアドレスに送付します。
3. オプションサービスのうち、プレミアムサポート、開発辞典、開発演習の提供開始日はライセンスパック等と同時に購入される場合は前項に基づいて、単体で購入される場合は当社が申込書（文書または電磁的方法等を問いません）を受領した日から4営業日以降の日付で、それぞれ当社が設定できるものとします。

第12条 サービスの提供対象者

1. 本サービスの提供対象者は、お客様が自ら雇用または直接に指揮命令する者に限定するものとします。
2. 当社は、お客様以外の第三者には本サービスを提供しないものとします。ただし、お客様が事前に当社にその詳細について申請し、当社が承諾した場合は、この限りではないものとします。
3. お客様が、本サービスを利用するにあたり、お客様が行うべき作業等を第三者に代行させる場合、お客様は、当該第三者に本規約におけるお客様と同等の義務を負わせるものとし、当社が別途定める手続きに従い当社に事前に申し出るものとします。なお、本サービスの提供に支障を及ぼすまたは及ぼすおそれがあると判断した場合、当社は、当該第三者の作業代行を認めないことがあります。

第13条 サービス提供に関する留意事項

1. 本サービスの効果・到達目標
 - (1) 本サービスおよび教材の内容・修得目標・ロボット作成目標の設定は、当社の裁量とします。
 - (2) 本サービスは、特定の知識・技能等が修得されることや、ロボットが完成することを保証するものではありません。
 - (3) 当社が提供する本サービスおよび教材が、お客様の目的に対して最適であることを保証するものではありません。
2. 質問対応
 - (1) 本サービスの内容に関する質問は、講義および教材の範囲において受け付けます。
 - (2) 集合研修受講中の質問は、講義時間内でのみ、講義の進行に影響のない範囲で講師が受け付けます。
3. プレミアムサポートの留意事項については別紙2に記載の通りです。

第14条 免責事項、サービスの停止・中断・変更

1. 当社は、以下のいずれかに該当する、当社の責めに帰すべからざる事由による本規約の全部または一部の履行遅延もしくは履行不能について、一切その責任を負わないものとします。
 - (1) 天変地異・戦争・暴動・内乱その他の社会的事変、法令の制定・改変、政府による命令・処分・指導等の公権力の行使、通信回線の事故、輸送または通関等の遅延等
 - (2) 作成ロボットの作動結果による、オペレーティングシステムおよびアプリケーション等の障害および

それ起因する障害

2. 当社は、以下の各号に該当する場合には、お客様への事前の通知をすることなく、Automation Anywhere ポータルサイト上で提供するサービスの一時的な運営の停止を行うことがあります。
 - (1) 保守または仕様変更を行う場合
 - (2) 天変地異その他非常事態が発生し、または発生するおそれがあり、Automation Anywhere ポータルサイト上で提供する各種サービスの運営ができなくなった場合
 - (3) 当社がやむを得ない事由により Automation Anywhere ポータルサイト上で提供する各種サービスの運営上一時的な停止が必要であると判断した場合
3. 当社は、お客様へ事前に通知することなく、個別サービスの内容変更、一時的もしくは長期的な中断、またはサービス自体を終了することができ、お客様はこれを承諾するものとします。

第15条 監査権

1. 当社（本条においては AAI を含む）は、あらかじめお客様に通知することにより、本契約上の義務の履行状況について監査または検証する目的で、当社若しくは当社が指名した代理人によって、お客様の通常の営業時間内に、お客様の事業所に立ち入り、Automation Anywhere ソフトウェアがインストールされた端末に加え、お客様が管理する他のコンピューター端末内のデータを閲覧し、複製することができるものとします。
2. 前項の監査は、お客様の事業運営を妨げることが最小限となるよう実施するとともに、当社の監査は、緊急またはやむをえない場合を除き、1 年につき 2 回を限度に実施することができるものとします。
3. 監査により、お客様が当社に実際に支払った使用料が支払うべき使用料に比べ過少であるなど本契約に基づく制限に違反していることが判明した場合、お客様は、当社に損害賠償（その時点の最新の価格および利子を含むがそれに限らない）をなすほか、当該監査に関して当社が要した費用を支払うものとします。

第16条 損害賠償

当社は、本サービスの販売に関連し、当社の責めに帰する事由によりお客様に損害を与えた場合、発生した通常かつ直接の損害に限り賠償するものとし、その他特別な事情により発生した損害、派生損害、間接損害、逸失利益について当社は一切の責任を負わないものとします。また、当社が責任を負う場合であっても、当社は、過去 12 ヶ月間にお客様が当社または販売会社に支払った対価の金額を超えて賠償する責任を負わないものとします。なお、本条は AAI 提供サービスそのものに起因する損害を対象とするものではなく、同損害についてはライセンス規約の定めによるものとし当社は責任を負わないものとします。

第17条 業務委託

当社は、本規約に基づき提供する本サービスの一部または全部の履行を第三者に再委託できるものとします。

第18条 当社による契約解除

1. お客様に次に定める事由が生じた場合、当社は何らの催告を要せず、直ちに本規約による契約を解除できるものとします。
 - (1) 手形、小切手の不渡を出し、銀行取引停止処分を受けたとき。
 - (2) 差押、仮差押、仮処分、競売、強制執行、滞納処分等公権力の行使を受けたとき。
 - (3) 破産、民事再生手続、会社更生の申立をし、またはその申立を受けたとき、もしくは解散の決議をしたとき。
 - (4) 所在不明、または1ヶ月以上にわたり連絡不能となったとき。
 - (5) 当社に提出・送信した、お客様に関する情報に虚偽あるいは重大な遺漏のあることが判明したとき。その他、重大な過失または背信行為があったとき。
 - (6) 本規約に違反したとき。
 - (7) その他前各号に準ずる事態が発生し、当社が止むを得ないと判断したとき。
2. 当社が前項に基づき本サービスを解除したことにより、お客様もしくはその関係者に損害が生じたとしても、当社はこれによる一切の損害賠償責任を負わないものとします。

第19条 禁止行為

1. お客様は、お客様自らまたはお客様以外の法人（お客様の親会社、子会社、関係会社等を含む）もしくは個人をして、いかなる方法によっても、本サービスに関し、複写、複製、転載、引用、配信（ネットワークに接続されたサーバへのアップロードを含みます）、編集、翻案、改変、改竄、翻訳、第三者への開示等をしてはならないものとします。ただし、AAI 提供サービスについては、AAI がライセンス規約および別途定める基準、手続き等により認めた場合はこの限りではありません。
2. お客様は、お客様と雇用関係のある者（お客様の社内業務に従事する派遣社員および業務委託社員も含まれるものとします）以外の者に研修を受講させてはならないものとします。
3. お客様は、お客様自らまたは第三者をして、本サービスと同一または類似した研修資料を作成してはならないものとします。
4. お客様は、お客様自らまたは第三者をして、本サービスと同一または類似した研修を用いて、本サービスと同一または類似したサービスを提供してはならないものとします。
5. お客様は、本サービスを利用するにあたり、以下の各号に該当する行為をしてはならないものとします。
 - (1) お客様、他の研修受講者またはその他の第三者を誹謗中傷またはその名誉を毀損する行為
 - (2) お客様、他の研修受講者またはその他の第三者に損害を与えまたは与えるおそれのある行為
 - (3) 本サービスの運営に支障を及ぼすまたは及ぼすおそれのある行為

第20条 権利譲渡の禁止

お客様は、当社の書面による事前の承諾なく、本規約による契約上の地位または本規約に基づく権利もしくは義務につき、第三者に対し、譲渡、移転、貸与、担保設定、その他処分をすることはできないものとします。

第21条 秘密情報

1. 本規約における秘密情報とは、口頭、書類、電子媒体等の情報開示手段の種類を問わず、本サービスの提供もしくは利用に関連して一方当事者（以下「情報開示者」といいます）から他方当事者（以下「情報受領者」といいます。）に開示される技術上または営業上の有用な情報であって、次の各号の一に該当するものとします。
 - (1) 秘密である旨が明瞭に表示された書面、図表、その他関係資料等の有形の形態により開示される情報
 - (2) 秘密である旨を告知したうえで口頭その他無形の形態で開示される情報であって、かかる口頭の開示後 30 日以内に当該情報の内容が秘密である旨を明示された書面により開示される情報
2. 前項の規定に関わらず、情報開示者の書面による事前の同意を得た場合、または、次の各号の一に該当する情報については、秘密情報に該当しないものとします。
 - (1) 情報を受領する前に、既に公知または公用となっていた情報
 - (2) 情報を受領する前に、情報受領者が既に自ら正当に所持していた情報
 - (3) 情報を受領した後に、情報受領者の責に帰すべからざる事由により公知となった情報
 - (4) 情報受領者が正当な権限を有する第三者から秘密保持義務を負うことなく合法的に入手した情報
 - (5) 情報受領者が受領した情報を用いることなく独自に開発した情報
 - (6) 法令により開示を要求された情報（ただし、当該要求に応じるために必要な範囲に限って前項の適用を免れるものとします）
3. 情報受領者は、本サービスを提供もしくは利用するうえで、秘密情報を知らせる必要のある自己の役員および従業員（派遣社員を含みます）または再委託先（以下総称して「従業員等」といいます）以外の者に、秘密情報を開示または漏洩してはならないものとします。また、従業員等に対し本規約に基づき自己が遵守すべき義務と同一の義務を遵守させるものとします。
4. 情報受領者は、本サービスの提供もしくは利用のためにのみ秘密情報を使用し、他のいかなる目的のためにも秘密情報を使用しないものとします。
5. 情報受領者は、本条の秘密保持義務を遵守するため、善良なる管理者の注意をもって秘密情報を管理するものとします。
6. 情報受領者は、情報開示者から受領した資料等で秘密情報を記載したもの（書類、電子媒体等）（以下「秘密資料」といいます）の不当な開示または紛失を防止するために、自己が適切と判断する措置を講じるものとし、万一紛失した場合は、直ちに情報開示者にその旨を通知し、その後の措置について相手方の指示に従うものとします。
7. 情報受領者は、相手方の事前の書面による承諾がない限り、本サービスの提供もしくは利用のために必要最低限の範囲を除き、秘密資料を複写・複製しないものとします。なお、本条に基づき複製された秘密資料に関しても本規約の各条項が適用されるものとします。
8. 前 2 項の秘密資料には、情報開示手段の種類に関わらず、情報開示者から開示された秘密情報

を、情報受領者において文書化したものを含むものとします。

第22条 パーソナルデータの取り扱い

当社は、お客様のパーソナルデータを「プライバシーポリシー」に定めるところにより、その目的の遂行に必要な範囲において取り扱うこととします。

第23条 知的財産権の帰属

1. 本サービスにかかる知的財産権（著作権法第 27 条および第 28 条の権利を含む）は、当社もしくは当社に権利を許諾した者に帰属し、当社による事前の書面による許諾を得ることなく、お客様は本規約に基づく本サービスの利用以外の目的で使用、複製、転写または頒布することはできません。
2. 本サービスの提供の際に当社がお客様のためにロボットを作成した場合、当該ロボットの著作権（著作権法第 27 条および第 28 条の権利を含む。以下同じ）は、当社または第三者が従前から保有していた著作権および汎用的な利用が可能な著作権を除き、当該個別契約に係る委託料の支払いが完了されたときをもって、お客様に移転します。
3. 前項の場合、お客様が当該ロボットを本サービスにかかる規約に基づき適法かつ有効に利用されている限り、当社は著作権者人格権を行使しないものとします。

第24条 反社会的勢力の排除

1. 当社およびお客様は、現在、暴力団、暴力団員、暴力団員でなくなったときから 5 年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋等、社会運動等標ぼうゴロまたは特殊知能暴力集団等、その他これらに準ずる者（以下これらを「暴力団員等」といいます）に該当しないこと、および次の各号のいずれにも該当しないことを表明し、かつ将来にわたっても該当しないことを確約します。
 - (1) 暴力団員等が経営を支配していると認められる関係を有すること。
 - (2) 暴力団員等が経営に実質的に関与していると認められる関係を有すること。
 - (3) 自己、自社もしくは第三者の不正の利益を図る目的または第三者に損害を加える目的をもってするなど、不当に暴力団員等を利用していると認められる関係を有すること。
 - (4) 暴力団員等に対して資金等を提供し、または便宜を供与するなどの関与をしていると認められる関係を有すること。
 - (5) 役員または経営に実質的に関与している者が暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有すること。
2. 当社およびお客様は、自らまたは第三者を利用して次の各号の一にでも該当する行為を行わないことを確約します。
 - (1) 暴力的な要求、詐術、脅迫的言辞などの行為
 - (2) 法的な責任を超えた不当な要求行為
 - (3) 風説を流布し、偽計を用いまたは威力を用いて相手方の信用を毀損し、または相手方の業務を妨害する行為
 - (4) 法令、公序良俗に反する行為、またはそのおそれがある行為

(5) その他前各号に準ずる行為

3. 当社およびお客様は、自らまたは自己の委託先等が前 2 項の規定に違反している事実が判明した場合、直ちに相手方にその事実を報告するものとします。
4. 当社およびお客様は、相手方に対し、相手方または相手方の委託先等による第 1 項および第 2 項の規定の遵守状況に関する必要な調査を行うことができるものとします。この場合、相手方は当該調査に協力し、これに必要な資料を提出しなければならないものとします。
5. 当社およびお客様は、相手方または相手方の委託先等が第 1 項または第 2 項の規定に違反している事実が判明したときは、何らの催告をせず、本規約に基づく一切の契約の全部または一部を解除することができ、または相手方に対して反社会的勢力の排除のために必要な措置を講ずるよう請求でき、相手方はこれになんら異議を申し立てないものとします。なお、この場合、表明に反した当事者は、期限の利益を喪失し、直ちに相手方に対する債務の弁済を行うものとします。
6. 前項の規定により、相手方から本契約を解除された場合または反社会的勢力の排除のために必要な措置を講ずるよう請求された場合、当社およびお客様は、当該相手方に対し、その名目を問わず、当該解除または措置に関し生じた損害および費用の一切の請求をしないものとします。
7. 当社およびお客様は、第 5 項の規定により本契約を解除したことにより損害を被った場合には、相手方に対してその損害の賠償を請求することができるものとします。

第25条 契約の優先順位

1. お客様が本サービス以外に当社の提供する Automation Anywhere 関連のサービス（以下「その他サービス」といいます）を利用される場合において、本規約とその他サービスの規約（以下「その他規約」といいます）で異なる定めをした場合は、その他規約が本規約に優先するものとします。
2. お客様が当社と本規約またはその他規約の規定に関する特約を締結する場合は、必ず契約書として明文化した上で、特約が本規約およびその他規約に優先するものとします。

第26条 規約の変更

1. 当社は本規約を事前の周知なく変更することがあります。この場合の提供条件等は、変更後の規約および個別契約によるものとします。なお、規約変更時には、Automation Anywhere ポータルサイトでの掲示または当社の指定する方法でお知らせします。
2. 規約変更のお知らせから一定期間内にお客様からのお問合せがない場合、変更について了承したものとみなします。

第27条 存続条項

本規約に基づき提供する本サービスが期間満了、または契約解除等いかなる事由により終了した場合であっても、第 6 条（契約更新）、第 15 条（監査権）、第 16 条（損害賠償）、第 19 条（禁止行為）、第 20 条（権利譲渡の禁止）、第 21 条（秘密情報）、第 22 条（個人情報の取り扱い）、第 27 条（存続条項）、第 28 条（準拠法）および第 29 条（管轄裁判所）の規定については、なお効力を有するものとします。

第28条 準拠法

本規約に基づき提供する本サービスの内容および提供条件、ならびに、本規約の内容については日本法に準拠し、日本法に従って解釈されるものとします。

第29条 管轄裁判所

本規約に基づき提供する本サービスに関する訴訟その他一切の法的手続きについては、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

第30条 協議事項

当社およびお客様は、本規約に定めのない事項または本規約の内容について疑義を生じた場合、双方協議の上、誠意をもって解決するよう努めるものとします。

第31条 書面の提出など

当社が必要と認める場合は、申込書、特約申込書、その他の通知書面などの提出又は契約上の合意について、当社指定のクラウド型電子契約システムの方法によることができるものとします。

以上

別紙 1 : 個別サービス概要一覧

当社がお客様に対して提供するサービスは下記の通りとします。

1. オプションサービス（本オプションサービスは準委任契約として提供されます）

(1) 初期設定サービス

① サービス概要

本サービスは、お客様がご準備された Windows サーバにおいて、Automation Anywhere ソフトウェアのインストール・設定を行います。

② サービス内容

(ア) Automation Anywhere 構成情報ヒアリング

構築するサーバの環境や、Automation Anywhere ソフトウェアの設定内容をヒアリングし、パラメータを決定します。

(イ) Automation Anywhere ソフトウェアのインストール

お客様が準備された Windows サーバに Automation Anywhere ソフトウェアをインストールします。

(ウ) Automation Anywhere 連携データベースインストール

スケジュール情報やロボット動作ログ、監査ログを格納するデータベースソフトウェアをインストールします。

(エ) Control Room、連携データベースソフトウェアの初期設定・動作確認

(ア) にて決定したパラメータに基づき、(イ) でインストールしたソフトウェアの初期設定をし、それぞれの動作確認を行います。

(オ) 構築環境の説明・Control Room の機能説明

構築した Automation Anywhere 稼働環境と Control Room の基本的な機能について説明します。

※Automation Anywhere on Azure PoC 構成（開発環境提供版）の場合は（オ）は提供しません。

(2) 開発スキルトレーニング

① サービス概要

(ア) お客様へ RPA ロボット開発における操作方法についての研修を行います。

(イ) 研修内容は、当社が定めるもので実施します。

② 研修時間

当社が定める時間で実施します。

③ 開催形式

お客様事業所内またはお客様が指定する場所で研修を開催します。

場所の予約はお客様側で実施頂くものとし、それにかかる費用はお客様負担とします。

(3) 開発スキルトレーニング教室版

① サービス概要

(ア) お客様へ RPA ロボット開発における操作方法についての研修を行います。

(イ) 研修内容は、当社が定めるもので実施します。

② 研修時間

当社が定める時間で実施します。

③ 開催形式

当社は以下のいずれかの方法でサービスを提供いたします。

(ア) 集合型研修

当社が指定する研修会場へ予め参加日時を予約の上、訪問し研修に参加頂きます。

(イ) オンライン研修

Web 会議ツールを用い、オンライン環境で研修を実施します。予め参加日時の予約が必要です。オンライン研修の提供は下記の条文中に同意することを条件とし、同意した受講者に限り受講できます。

(a) 本研修は当社が指定する PC をレンタルし、その PC で受講いただくことを前提として実施されます。

(b) 本研修は Web 会議ツールを利用して実施するため、常時ネットワーク接続が必要です。インターネット接続環境はお客様自身でご用意いただく必要があります。

(c) 別途 PC 送料を申し受けます。

(d) レンタル PC において返却遅延、未返却、紛失、故障が発生した場合は損害金または修理費用を申し受けます。

(4) 開発支援サービス

① サービス概要

(ア) 当社は、お客様が自力でロボットの開発を行うためのロボット作成支援を行います。

(イ) 当社は、お客様に代わりロボットを開発する場合があります。

(ウ) 当社は、お客様に代わり運用サポート支援を行う場合があります。運用サポート支援とはユーザー権限設定・リポジトリ設定・サーバへのロボットのアップロードスケジュール設定・ロボットのエラー原因の調査・対策・修正をいいます。

② 実施形式

当社は以下のいずれかの方法でサービスを提供いたします。

(ア) オンサイト

お客様事業所内でロボット作成支援を行います。お客様事業所内で解決できない事柄が発生した場合や、お客様事業所外で実施する方が合理的な場合は、お客様了承のもとにお客様事業所外で作業を行う場合があります。

(イ) オンライン

リモートデスクトップ接続を行い、お客様の PC 画面を遠隔で確認しロボット作成支援

を行います。またお客様が希望された場合は必要に応じて操作します。

(ウ) オンサイトとオンラインの組み合わせ

(ア)(イ)の実施形式を併用しロボット作成支援を行います。

③ 支援体制

(ア) 当社はお客様における作業者と作業指示者を設定します。お客様から作業指示等の依頼がある場合は、当社が定めた作業指示者へ依頼するものとします。

(イ) お客様は当社に対し、本サポートを行うにあたって利用する、PC・作業環境・ライセンス・入館証の手配を行うものとします。

(5) プレミアムサポート

① サービス概要

Automation Anywhere の利活用におけるお客様の疑問に対し、講師が 1 対 1 のセッションでお答えするサービスです。セッションは 1 回 45 分間で、あらかじめ日時を予約して頂きます。

② 実施形式

(ア) リモートデスクトップ接続を行い、講師がお客様の PC 画面を遠隔で確認しながらセッションを実施します。

(イ) セッション中の音声通話は電話が主体です。リモートデスクトップツールが利用できない場合は、電話のみでの実施となります。

(6) 業務選定支援サービス

① サービス概要

業務選定支援サービスは対象業務の選定・費用対効果の算出・業務フロー・手順書作成を支援します。

② 業務選定支援サービスには、4 つのプランがあります。

(ア) 標準プランは(a)～(d)まで提供します。

(イ) 診断プランは(a)～(b)まで提供します。

(ウ) 業務追加プランは(c)～(d)を提供しますが、「標準プラン」または「診断プラン」を契約されたお客様に限り、ご提供します。

(エ) フロー書き方プランは(e)を提供します。

(a) アイデア出しセミナー：1 回

当社が、RPA でできることできないこと、RPA の自動化事例、自動化のアイデアの考え方、アイデア入力フォーマットの入力方法を説明するセミナーを開催します。

(b) 業務選定：1 回

お客様が創出したアイデアを元に、当社にて開発優先順位付け、削減効果、投資対効果の算出を行い、当社指定のフォーマットに記載して納品します。

(c) 業務フロー作成：1 業務

上記(b)の業務選定の結果からお客様が選定した 1 業務について、当社にて業務全体の概要および RPA 化対象範囲を示した業務フローを当社指定のフォーマットに記載して納品します。

(d) 手順書作成：1 業務

上記(c)の業務フローの中からお客様が選定した 1 業務について、当社にて業務の作業工程を示した手順書を当社指定のフォーマットに記載して納品します。

(e) 業務フロー書き方講座：1 回

業務フローの書き方講座を開催します。

(7) 開発辞典

① サービス概要

(ア) お客様へ RPA ロボット開発における操作方法のガイドラインをオンラインで提供します。

(イ) 操作方法是機能単位で調べることができます。

② 利用期間中でのコース（1 ヶ月、12 ヶ月）変更はできません。一度そのコースが終了した後に、新たに申込が必要です。

(8) 開発演習

① サービス概要

(ア) お客様へ RPA ロボット開発の習熟を目的とした演習問題を提供します。演習問題終了後、修了テストに合格された方には修了証を発行します。

(イ) 受講期間中、学習サポートツールとして上記(7)開発辞典を利用いただくことが可能です。

(ウ) 演習問題、修了証の提供、質問対応などはすべてオンラインでの実施となります。

② プラン

(ア) 自習型

演習問題の採点はご自身で行って頂き、修了テストのみ当社が採点を行います。開発方法に関する質問対応は行いません。

(イ) 通信教育型

演習問題、修了テストともに当社が採点を行います。また、演習問題の開発方法に関して質問がある場合は最大 8 回まで質問可能です。

以上

別紙 2：プレミアムサポートの留意事項

第1条 サービス内容

1. サービス対象

プレミアムサポートは、Automation Anywhere の利活用における以下フェーズに係るお客様の疑問に答えるサービスです。

- (1) 環境構築（初期設定を含む）
- (2) ロボット開発
- (3) ロボット運用

なお、以下はプレミアムサポートのサポート対象外とします。

- (1) 業務診断や手順書作成など業務要件の定義
- (2) お客様環境における PC、サーバ、ネットワーク等、Automation Anywhere 以外のソフトウェア、システムのサポート

2. 利用条件

お客様は下記条件をすべて満たせば、セッションの予約が可能です。

- (1) プレミアムサポートを購入した同一法人内での利用であること
- (2) プレミアムサポートの契約期間内の利用であること

3. 実施形態

- (1) プレミアムサポートで提供するセッションは 1 回 45 分間とします。
- (2) セッションはお客様と講師による 1 対 1 のやり取りで進めます。
- (3) お客様と講師がセッションで利用するツールは、電話・リモートデスクトップツールとします。
- (4) セッション時、講師は下記ポリシーに従うものとします。

- ① リモートデスクトップツールは、原則閲覧モード※ 1 にて利用するものとし、操作モード※ 2 への変更はお客様の同意を得た上で行います。

※ 1 閲覧モード：講師は講師 PC 上でお客様 PC の画面閲覧のみが可能

※ 2 操作モード：講師は講師 PC 上でお客様 PC の画面閲覧と操作が可能

- ② お客様のプライバシー情報（例：PC の ID/PW）の入力が必要な場面では、常に閲覧モードにします。
- ③ 講師とお客様の間でファイル（例：ネットワーク用の設定ファイル）のやり取りは行わないものとします。
- ④ セッションの受講は事前予約を必要とします。

4. セッション成立の考え方

- (1) セッションが 1 回成立するごとに利用可能回数 1 回が消費されます。
- (2) セッションは「お客様と講師の間で電話での通信が開始された」時点で成立したものとみなします。なお、リモートデスクトップ接続の有無/成否は問わず、お客様要因により、予約のキャンセルが行われなかった場合（下記の例参照）においてもセッションは成立したものとみなします。

[例]

- ・お客様が予約キャンセル受付期限後にキャンセル申し込みを行った場合
- ・お客様が、予約したセッション時間内に当社に架電をしなかった場合

第2条 セッションポリシーと免責事項

1. 当社がサービス品質向上のためプレミアムサポート提供時の電話でのお客様との通話内容を録音することについて、お客様はあらかじめ同意するものとします。
2. プレミアムサポートはお客様より当社指定の電話番号に対して架電するものとします。セッション開始時刻以降もお客様からの架電がない場合、当社はセッション終了時刻まで架電を待機します。お客様が予約したセッション時間内に当社に架電をしなかった場合であっても、セッション終了時刻を過ぎた時点で原則利用可能回数 1 回を消費するものとします。
3. セッション終了時刻は、お客様の架電時間に関わらず、お客様が予約された開始時刻から 45 分後とします。
4. 連続のセッション枠で予約されている場合、お客様と講師双方の合意があればセッションとセッションの間の 15 分間の休憩は省略することができます。ただし連続でのセッション枠の予約は最大 2 枠までとします。
5. セッション中に通話が途切れた場合は、お客様より当社に再架電を行うものとします。なお、お客様より再架電がない場合も、原則利用可能回数 1 回を消費するものとします。
6. 講師とお客様の対応は原則セッション時間内のみとします。
7. プレミアムサポートは日本国内でのご利用および日本語でのサポートのみとします。
8. プレミアムサポートは当社が指定するソフトウェアバージョンのみのサポートとします。
9. プレミアムサポートはお客様の問題解決の結果に関わらず原則利用可能回数 1 回を消費するものとします。
10. お客様はリモートデスクトップ接続で個人情報や PW などの機密情報について、当社に開示をしないものとします。
11. リモートデスクトップ接続を通じて不具合やファイル消失があっても（当社の講師によるリモートデスクトップ経由の操作を含む）当社は一切の責任を負わないものとします。
12. プレミアムサポートでは、お客様が接続を試みるシステムやアプリケーションに制限を設けないものとします。ただし、Automation Anywhere の仕様上対応できないものについては、プレミアムサポートの保証外とします。
13. セッション予約時とセッション実施時で、会社名、受講者氏名および予約時に送付する予約番号等の情報が異なる場合、当社はセッションを実施しないものとします。
14. 当社はセッションの開催および運営について最大限努力するものとします。ただし以下の場合においては開催出来ない、またはセッションを中止する場合があります。この場合は利用可能回数の消費は行わないものとします。
 - (1) 当社の都合（講師の体調不良など）によりプレミアムサポートの提供が困難となった場合
 - (2) 天災などにより通信環境の維持が困難となった場合
 - (3) 通信設備の故障により運営が出来ない場合

以上